

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ白根保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：森 香織	定員（利用人数）：60名 （利用人数：60名）
所在地：〒241-0005 横浜市旭区白根5丁目13-1	
TEL：045-952-3500	ホームページ： https://www.gkids.co.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2014年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員： 9名
専門職員	園長 1名 主任 1名
	保育士 15名 保育補助 2名
	調理補助 3名
施設・設備の概要	保育室 6 トイレ 6
	調理室 1 事務室 1
	ホール 1 沐浴室 1
	調理室 1 調乳室 1
	休憩室 1 教材庫 1
	エントランスホール 1 倉庫 2
	備蓄庫 1 バギー庫 1
	園庭：あり(72.15㎡)

③ 理念・基本方針

（企業理念）	子どもたちの未来のために
（保育理念）	豊かに「生きる力」を育てる
（保育目標）	1、 何事も楽しむ子 2、 自分で考え、行動する子
（保育方針）	1、 子どもも大人も楽しい保育 2、 子どもへの考えや行動を尊重し、見守る保育
・子どもたちの「やりたい」気持ちを受け止めて様々な経験を可能にできる環境を設定した保育を行う。	
・子どもの気持ちを尊重し、話を聞く。	
・保育者が子ども達の手本としての態度をとる。（表情や行動）	
・チームで助け合い、笑顔が増える保育をする。	

④ 施設・事業所の特徴的な取組

園は最寄駅からバスで10分程度の住宅街にあるため、近隣住民の在籍率が高い保育園です。近くには公園や、自然環境も多く子どもたちが小さな興味から遊びを創り出す日常があります。子ども達の育ちを見守ることを大切にしながら下記の取り組みを行っています。

異年齢保育の充実・・・デイリーノートを共有することで、活動へのヒントや個々の育ち、興味、課題など施設長も含め全体が理解し子どもと向き合う取り組みになっています。今年度は、職員が活動を決めがちな日常に子どものつびやきや、仕掛けを工夫することで活動のスタートから展開そして次への継続などWEB保育を取り入れ始めました。

保育と食育の連携強化・・・園庭野菜の栽培に子ども達の気づきや疑問を取り上げたり、堆肥を作り成長につなげたり、連携園の取り組みや地域の意見などから知識を広げ継続的に食につなげています。今年度より、グローバルキッズ専用の田んぼで給食用のお米の栽培が始まり、自園で案山子づくりや看板、農家の方への手紙づくりなどに取組み、田んぼの状況なども変化があることに子どもたちと共有しているところです。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月9日（契約日） ～ 令和5年12月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2020年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)子どものサポートに徹する保育

職員は子どもたちの発見となる仕掛けを日々工夫し、幼児は子ども主体のweb保育に取り組んでいます。テーマに対し、子どもたちの考えや発見を展開させ、文字に起こして見える化していきます。自分の意見をなかなか言えない子どもでも、職員が個別に意見を聞いて受容し、共感することで自信を付けていきます。日々の生活の中で職員は細かな声かけを控え、子どもが考えて行動し、新しい発見をすることのサポートに徹しています。子どもが自身で考え、行動する力が自然に身につく保育を行っています。

2)職員の育成環境の充実

法人から職員のグレードによる研修参加の要請はありますが、園では内部研修に限らず、外部研修の情報を提供し、職員が積極的に受講できる体制を整えています。研修受講のための就労環境に配慮し、職員の知識・スキルの習得にできる限りのバックアップを行っています。研修は常勤職員だけでなく、非常勤職員においても就労状況により研修を受けることができます。

3)積極的な地域の子育て支援

園長は横浜市私立保育園こども園園長会の旭区地区委員として地域の福祉ニーズを把握し、ニーズに沿った子育て支援の取組を積極的に行っています。「子育て支援担当」を設け、就学前の親子を中心に「身体測定・大きくなったかな」や「園庭開放」「交流保育」その他、年3回の育児講座や参加した子どものお誕生会を年4回設けるなど、参加親子からいつも好評を得ています。直近の子育て講座は離乳食相談で、栄養士がわかりやすく説明しました。園では今後も多様なニーズに対応できる地域貢献を引き続き進めていきたいとしています。

4)ボランティア受け入れマニュアルの整備

絵本マイスターによるボランティアが毎月来園し、子どもたちも楽しみにしています。しかし、ボランティア受け入れのマニュアルは改善が必要と考えています。今後は体験学習など学校教育の協力を進めていくうえで、園の受け入れに対する基本姿勢

を明確にし、トラブルや事故がないようお互いの理解のもとで実施することが望まれます。また、実施後に明らかになった課題などについて職員間で話し合い、マニュアルに追記しておくことも期待されます。

5) 中期計画、事業報告・事業計画策定の改善

事業計画・事業報告から中期計画に連動し、反映させていくシステムが十分ではありません。園は中期目標の達成に継続する体制を確立していますが、それぞれの内容が保育活動に特化しており、保育所全体の質の向上に反映させていく内容としては十分ではありません。今後の課題として保育所全体の環境構成の見直しを職員参加で行い、中期計画達成につなげる事業報告・事業計画の策定が望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園10年目を迎え、社会における保育園の在り方や保育の考え方の変化が激しくなる中での第三者評価受審となり、気づきをたくさんいただくことが出来ました。

全職員が保育を振り返る中で評価をしていただけたことも多く、次の目標へチームとして挑む課題も見えてきたと感じております。

運営部分に関しては、職員間のコミュニケーションを増やしながらい園全体で取り組むことを意識し理解を深めていきます。また、子育て支援や地域交流、地域支援につきましてはこれまで通り社会に溶け込む保育園を目指して積極的に計画を立て実践していきます。

そして引き続き、グローバルキッズ白根保育園で大切にしている異年齢保育や人との関りで育ちあう姿を、運営や保育そして地域で支え合い、子どもたちの未来のためにつなげることを今後も意識してまいります。

利用者様とはコミュニケーションを深め、保育園に参画していただける機会も増やしていき信頼関係を築くことを大切にしていきたいと感じております。

今回の第三者評価の受審に際し、ご尽力いただいた評価機関の皆様、利用者アンケートに協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

グローバルキッズ白根保育園 施設長 森香織

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり